

浦 添 市 地 域 公 共 交 通 会 議

【 第 2 回 】

第 1 回浦添市地域交通会議議事要旨

平成 30 年 2 月 8 日

浦添市都市建設部都市計画課

浦添市地域公共交通会議

第1回委員会議事要旨

日時：平成29年11月13日（月）

14：30～16：30

場所：浦添市役所 9階 講堂

■資料1：浦添市地域公共交通会議設置要綱について

発言者	主な指摘・意見	回答・対策方針など
沖縄総合事務局 運輸部 （陸上交通課） 西倉委員	<ul style="list-style-type: none"> 第3条第4～5項に示す一般貸切（乗用）という規定は、道路運送法に規定はなく、会議メンバーからみると、「一般乗用」が適切ではないか。 	（事務局） <ul style="list-style-type: none"> ご指摘内容について、確認を行い適切に修正を行う。

■議題（1）：浦添市の公共交通を取り巻く現状と課題について（資料3）

発言者	主な指摘・意見	回答・対策方針など
沖縄県都市モノレール株式会社 延長推進室 仲村委員	<ul style="list-style-type: none"> 6、8ページに示している、学校送迎及び移動ニーズのトリップ数について、単位は人/日という認識でよいか。 	（事務局） <ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、単位は人/日である。
沖縄総合事務局 運輸部 （陸上交通課） 西倉委員	<ul style="list-style-type: none"> 8ページの円グラフ凡例について、公共交通と比較を行うのであれば、自動車ではなく、自家用車という表現が適切ではないか。 	（事務局） <ul style="list-style-type: none"> ご指摘の通り、修正を行う。

■議題（2）：支線公共交通の検討方針について（資料4）

発言者	主な指摘・意見	回答・対策方針など
浦添市 副市長 野口会長	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な考え方に示している優先度を考慮し、今後、モデルルートを検討を進めていくのか。 	（事務局） <ul style="list-style-type: none"> 基本的な考え方が決まれば、それに基づき、H22実証実験ルート及びモノレール駅周辺地域のルート検討を進めていく。 また、今年度、アンケート調査を実施する予定であり、その結果もルート検討の参考にしたい。

<p>一般社団法人 沖縄県バス協会 慶田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行形態について、モデル 2（路線固定型）とモデル 3（完全デマンド）の違いについて教えていただきたい。 ・ モデル 2,3 とした場合、自由乗降を将来目指していくという考えなのか。県内には事例がなく、浦添市の将来的な提案なのか。 ・ 8 ページの路線固定型について、路線を定めて需要があれば迂回していくという方式なのか。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モデル2はルートが決まっており、予約が入れば走行する運行形態である。一方、モデル 3 については完全デマンドになっており、路線ルートが決まっていない運行形態である。 ・ 今回あくまで、一般論としてそれぞれの運行形態の可能性を明記した。具体的な運行形態については今後検討を行う。 ・ その通りである。
<p>沖縄総合事務局 運輸部 (陸上交通課) 西倉委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な考え方において、観光客の利便性を高める交通手段の構築と記載されているが、ルート検討の観光客等の来訪者に向けた市内周遊について、人気エリアは通過しないと記載されているのは矛盾ではないか。 ・ 基本的な考え方について、最優先項目は交通不便地域の改善を図る交通手段の構築だと考える。 ・ ルート検討において、住民へのアンケートのみならず、ヒアリングを行い有効と考える。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ルート検討において、優先度の高い視点から考慮した際に、最終的に観光エリアを通過しない可能性もあることをイメージとして資料には記載した。
<p>一般社団法人 沖縄県ハイヤー タクシー協会 津波古委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議へ出席しているタクシー事業者 2 社の選定について教えていただきたい。 ・ タクシーや路線バス等の既存の公共交通を活用した上で、不足している面を充足していくという視点をおいていただきたい。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モノレール延長区間の沿線地域において、デマンド交通の可能性も考えられることから、その地域のタクシー事業者を本会議の委員として出席して頂いた。

<p>沖縄総合事務局 南部国道事務所 下地委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルートの検討については、基本的な考え方に基づき、複数のルートと比較検討していくのか。 ・ 県内の事例を示しているが、各市町村の評価についてヒアリングをおこなっているのか。その評価が、今後の浦添市の支線公共交通検討において判断材料になるのではないか。 ・ 第1回会議以降の検討の進め方について、不明確ではないか。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘の通り、優先度に基づき比較表を用いて、ルートの検討を行う。 ・ 今回、中城村の護佐丸バス・北谷町のC-BUSを試乗してきて、職員側と事業者側で問題の認識が異なる。北谷町は運行して間もないことから、評価は難しいが、中城村については今後、ヒアリングを考えている。 ・ 来年度以降、年2回の会議を想定しているが場合によっては数を増やして検討していかないといけない。まずは基本的な考え方を固めないとルート選定は難しい。
<p>一般社団法人 沖縄県バス協会 慶田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルートの選定においては、既存バス路線との競合を避けて頂きたい。 ・ 支線公共交通の運行にあたっては、予備車両も含めた検討を行って頂きたい。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ルートの選定に関しては関係機関と協議したうえで、調整を図っていききたい。 ・ 予備車両について今後検討を行う予定。
<p>沖縄県企画部 交通政策課 座安委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ モノレール延長区間の開業に合わせて、既存のバス路線の見直し等は考えているのか。 	<p>(那覇バス・琉球バス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バス路線の見直しを検討している。 <p>(沖縄バス・東陽バス)</p> <p>モノレール延長区間周辺において、既存のバス路線がないことから、検討は行っていない。</p> <p>(沖縄バスについては、会議後にバス路線の見直しの可能性がある事を確認)</p>
<p>沖縄県都市モノレール株式会社 延長推進室 仲村委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成32年度より、本格運行を目標としているが、採算性の検討等は、今後、行っていくのか。 	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成32年度本格導入はあくまで目標である。平成22年度の実証実験では本格導入に至らなかったため、事前検討をしっかりと行い本格導入につなげていきたい。
<p>浦添市副市長 野口会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議案の「支線公共交通の検討方針」について、異存ありませんか。 	<p>(各委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異議無し